



《子供達へ救いの手を差し伸べる》 CSR自販機のご案内

10代の若者を救う応援自販機の設置にご協力いただけませんか？

10代専用 LINE相談

子供達は子供達なりに多くの深い悩みを抱えています。
その原因の大半が大人達、つまり我々の可能性があるんです。
そういった子供達に手を差し伸べ、
寄り添い救う活動にご協力ください！



子供達のを信じて 子供の笑顔
寄り添い

LINE相談 10代の悩み

取り組み背景と現在の活動

一般社団法人リスク対策支援協会での活動を通じ、企業が抱えるリスクを多く目の当たりにし、ツール提供を含め対策のお手伝いをして参りました。

一方で、「リスク」とは企業や大人のみの問題なのか。という疑問を抱き、まずは「子供」に着目しました。

そこでメディアを含め注目されていた「NPO法人若者メンタルサポート協会」の代表である岡田氏と出会いを通じ、相談員をさせて頂くようお願いしたところから本取り組みを始めております。

現在は理事兼相談員として子供達に寄り添いながら、得意分野であるSNSトラブルの解決、経営者時代での経験を活かした将来設計のアドバイスに加え、NPO法人に入る問い合わせ内容の分析などに取り組んでおります。

**若者メンタルサポート協会の
活動につきまして**

代表理事プロフィール

岡田沙織



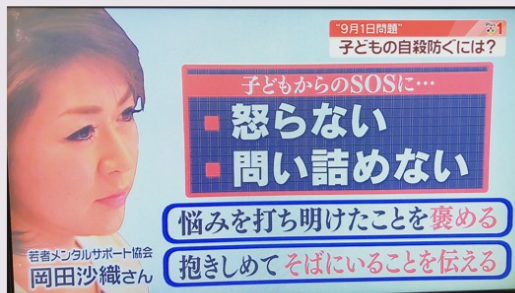
NPO法人若者メンタルサポート協会 理事長
株式会社Tell Me Agency 共同代表取締役
一般社団法人レディースメンタルサポート協会 代表理事
あすぷろ実行委員会 理事

・ 幼少期から波瀾な人生を送り、両親の離婚・孤独な幼少期・いじめ・ドラッグ・自殺未遂・15歳で水商売・リストカット・レイプ・家出・DV・刺青・離婚・鬱病・生活保護・父親の裏切り等々、その他数々の経験をする。

2010年から心理学やスピリチュアルを学び、2012年から自身の経験を活かして悩める若者の24時間LINE相談活動を始め、2015年NPO法人若者メンタルサポート協会を設立。ブログ「心が楽になる魔法」で人生を変えるメッセージを発信しながら、波瀾な生い立ちも赤裸々に公表し、虐待や様々な家庭環境に苦しむ若者から月に4万通を超える相談が寄せられ、今なお増え続けている。

全国での講演活動や執筆、渋谷クロスFMでラジオパーソナリティを務めるなど幅広く活動し、長年の活動実績から様々なSOS行動をする若者をタイプ別に独自に分析した岡田メソッドでのカウンセラー養成講座も好評を博し、子どもの気持ちに寄り添えるカウンセラー育成にも力を入れている。また、子ども達が生きづらさを抱え自己肯定感を持ってない原因の多くは親子関係にあることから、心のプロを増やすカウンセラー育成とマネジメント業務を行う株式会社の共同代表と、悩める女性を支援する団体の代表理事も務め、親や大人たちの自己肯定感を上げるための活動にも尽力している。著書に「あなたは何も悪くない（サンマーク出版）」がある。

メディア出演実績



#アベプラ 礼儀や所作で「人」を判断して良い？ デヴィ夫人と考える



NHK「おはよう日本」「NHKスペシャル」「全国ニュース（首都圏ニュース）」「山梨クエスト」等
Ameba TV「Wの悲喜劇」「Abemaニュース」、テレビ福岡「ニュースめんたいプラス」等、渋谷クロスFM「岡田沙織のひとりじゃないよ」MC

メディア出演実績

親には見えない 若者の“SNS空間”

LINE

悩める若者の24時間LINE相談

韓国でも出版! (増刷)

あなたは何も悪くない

10代で死のうと 思ったことがあります

相談しようと思ったきっかけ

J-WAVE NEWS RANKING TOP5

- 「死にたい」若者をLINEで救う女性
- スカジャンの“スカ”の由来って知ってる?
- 今市隆二、三代目JSBの“あの曲”の制作秘話に驚愕

岡田 沙織

NPO 法人若者メンタルサポート協会理事長
心理学やスピリチュアルを活かした『若者カウンセラー養成講座』講師

TBSラジオ

子ども自殺を下げ 広がる取り組み

そもそも LINEを送ることも 勇気がいりましたという子もいるくらい

岡田 沙織 理事長

TBSラジオ「篠原麻里子のGOODLIFEラボ」、J-WAVE「ジョンカピラCOME TOGETHER」
著書「あなたは何も悪くない (サンマーク出版)」「韓国版・あなたは何も悪くない」
他テレビ・ラジオ・メディア多数

メディア出演実績

11 解説 12版 2018年(平成30年)6月6日(水曜日) 産経新聞

若者の自殺 防ぐためには



阿部 紗織
NPO法人全日本若者自殺防止センター 代表理事

「生きたい」の叫び 理解を

若者の自殺は、決して「弱さ」の表れではない。むしろ、社会の矛盾や価値観の衝突に直面し、苦しい思いを抱えている証拠である。彼らは「生きたい」と叫んでいる。その叫びを理解し、受け止めることが、自殺を防ぐための第一歩である。

「死にたい」という言葉は、多くの若者に聞かれる。それは、現実世界での生きづらさや、未来への希望の喪失、孤独感の表れである。SNSの普及により、若者は自分の悩みを匿名で共有し、支えあっている。しかし、SNS上の「リアルな世界で支援」は、あくまで補助的な役割にとどまる。最終的には、現実世界でのサポートが必要である。

自殺防止には、個人の自助と他助の両方が重要である。自助としては、自分の気持ちに気づき、受け止めることが大切である。他助としては、家族や友人、専門家への相談が有効である。また、社会全体として、若者の生きづらさを理解し、サポートする環境を整える必要がある。

15 社会 4版

若者の悩み SNSに

「リアルな世界で支援」模索続く

座間9遺体 1カ月

「死にたい」という言葉は、多くの若者に聞かれる。それは、現実世界での生きづらさや、未来への希望の喪失、孤独感の表れである。SNSの普及により、若者は自分の悩みを匿名で共有し、支えあっている。しかし、SNS上の「リアルな世界で支援」は、あくまで補助的な役割にとどまる。最終的には、現実世界でのサポートが必要である。

自殺防止には、個人の自助と他助の両方が重要である。自助としては、自分の気持ちに気づき、受け止めることが大切である。他助としては、家族や友人、専門家への相談が有効である。また、社会全体として、若者の生きづらさを理解し、サポートする環境を整える必要がある。

14版 社会 36

命の葛藤

SNS 悩み受け止め

同じ目線で寄り添い、支援

「死にたい」という言葉は、多くの若者に聞かれる。それは、現実世界での生きづらさや、未来への希望の喪失、孤独感の表れである。SNSの普及により、若者は自分の悩みを匿名で共有し、支えあっている。しかし、SNS上の「リアルな世界で支援」は、あくまで補助的な役割にとどまる。最終的には、現実世界でのサポートが必要である。

自殺防止には、個人の自助と他助の両方が重要である。自助としては、自分の気持ちに気づき、受け止めることが大切である。他助としては、家族や友人、専門家への相談が有効である。また、社会全体として、若者の生きづらさを理解し、サポートする環境を整える必要がある。



- ・ 読売新聞「論点スペシャル」・日本経済新聞・毎日新聞・TheLiberty
- ・ JWLIチャンピオンオブチェンジ日本大賞入賞、その他多数

若者メンタルサポート協会の主な活動

24時間
LINE相談

対面
カウンセリング

子供達向け
研修会

若者の
心と身体の
居場所作り

毎月の
イベント

みんなの家
オンライン

同行対応等

LINE相談活動



NHKおはよう日本にて
ボランティア相談メンバー
が取り上げられました

渋谷 クロスFMにて 岡田沙織のひとりじゃないよ

元厚生労働副大臣
高木美智代様



元横浜市長 中田宏様
をゲストにお迎え

渋谷 クロスFMにて 岡田沙織のひとりじゃないよ

中原と岡田による
ラジオ対談



子供のSNS問題について議論致しました

Abema TV 『Wの喜悲』

劇



若者の自殺防ぐためには

生きづらさを抱える10歳代の若者を対象に、2012年からLINEで相談を受けている。約5000人の悩みを聞いてきて感じるのは、「死にたい」「消えたい」と訴える若者の言葉の裏には、「生きたい」という叫びが隠れているということだ。まずは、「本当は生きたいけれど、死にたいぐらい今の現実がつらい」という彼らの内面を理解し、受け止めることが重要だと実感している。

「死にたい」という若者に詳しく聞くと、その根源には家庭環境の問題があるケースが多い。明らかに親から虐待を受けているケースは3割ほどだが、実は最も多いのは、「親が不仲で家にいたくない」、「親の期待が大きすぎる」といった、自殺に結びつくとは直ちに考えにくい悩みだ。

ある女子高生から「いじめに遭って死にたい」と相談を受けたことがある。ところが、よくよく話を聞いてみると、両親は高卒で学歴コンプレックスがあり、娘に「いい大学に入ってほしい」との期待が強かった。本人は親の期待に応えられず、追い込まれた状態でいじめに遭い、「自分は死ねばいい」と思いつめていた。

現代は、経済が右肩上がりだ

NPO法人若者メンタル

サポート協合理事長

岡田沙織氏



「生きたい」の叫びを理解を

った時代に比べ、大人の社会の側に閉塞感があるように思う。大人の満たされない思いを子供に一方的に押しつけるのではなく、親が向き合わなければならぬ問題は、親自身で解決していく必要がある。

家庭は本来、安心できる場所だ。しかし、そこに居場所がないと、若者の心のよりどころはインターネットになる。ツイッターで「死にたい」とつぶやくと、それを聞いてくれる人との空間が居場所になる。神奈川県座間市で起きた9人殺害事件は、これが悪い方向に使われた象徴的な事件だろう。

若者の思いを受け止める場所が必要だ。私自身も孤独に育ち、若い時に自殺未遂をした経験があり、「話を聞いてもらいたかった」との思いからLINE相談を始めた。読売新聞の調査でもわかったように、SNS相談は自治体にも少しずつ広がっている。相談の受け皿が増えることは望ましい。

ただ、「学校にはらされるのではないか」「警察に通報されるのでは」という不安から、自治体への相談をためらう若者がいるようにも感じる。ハードルを下げるため、相談員の顔が見えるようなシステムにしたり、夜間の態勢を充実したりすることも検討すべきだ。そして、若者の気持ちを頭ごなしに否定したり説教したりするのはなく、これまでの生き方を認め、受け入れる姿勢で臨むことが、最も大切なことだろう。

(社会部 石坂麻子)

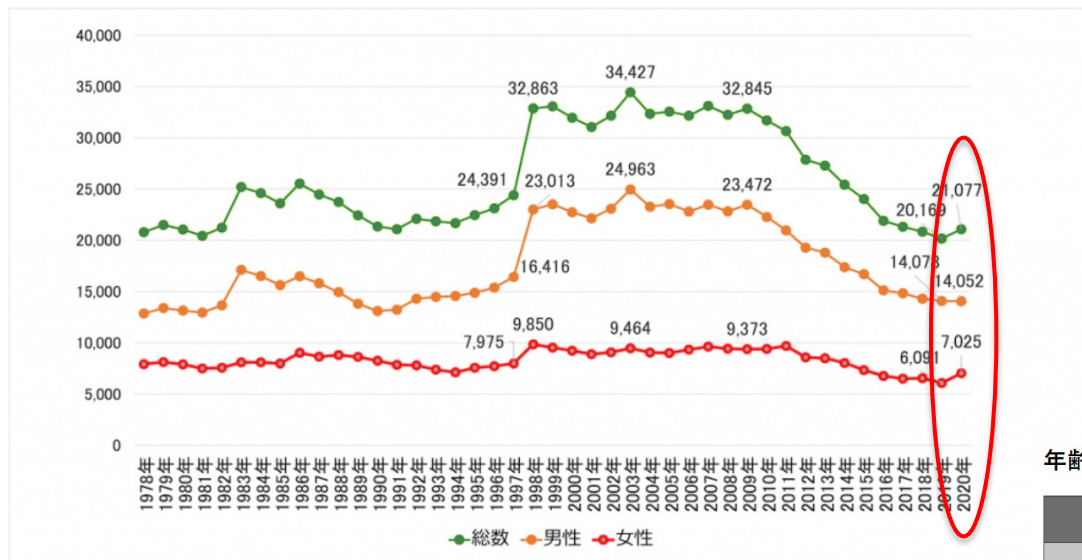
おかた・さおり 心理カウンセラー。個人の活動としてLINE相談を開始し、2015年にNPO法人を設立。両親の離婚やいじめ、DV(家庭内暴力)被害といった自らの経験をブログに掲載しているほか、悩みを抱えた若者向けラジオ番組に毎週出演している。45歳。

自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は高齢者も非常に高く、また10代~30代の死亡原因の第1位が自殺。最近では、女性の自殺率も上昇しているなど、自殺は日本社会全体の問題になっている。

「自殺問題は非常に複雑です。年代や、住んでいる地域によって抱え込みがちな問題の組み合わせが異なるため、それぞれの实情にあった対策を行う必要があります。ただ、いずれにしても、諸外国(G7※)と比較しても、日本の自殺率の高さは突出しており、非常事態だと捉えるべきだと思います」

※フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7つの主要先進国

図表：自殺者数の年次推移



自殺者数は1998年をピークに減少傾向にあるが、2020年は女性の自殺者が7,025人に増加した。資料：厚生労働省「自殺の統計」

若者の自殺を抑えることが最重要

年齢階級別の死因上位3位

年齢	死因の上位3位
全体	がん / 心疾患 / 老衰
10~14	がん / 自殺 / 不慮の事故
15~19	自殺 / 不慮の事故 / がん
20~24	自殺 / 不慮の事故 / がん
25~29	自殺 / がん / 不慮の事故
30~34	自殺 / がん / 不慮の事故
35~39	自殺 / がん / 心疾患
40~44	がん / 自殺 / 心疾患
45~49	がん / 自殺 / 心疾患

出所：厚生労働省「人口動態統計」

自殺のリスクが高まるとき

生きることの
促進要因



生きることの
阻害要因

- △将来の夢
- △家族や友人との信頼関係
- △やりがいのある仕事や趣味
- △経済的な安定
- △ライフスキル (問題対処能力)
- △信仰
- △社会や地域に対する信頼感
- △楽しかった過去の思い出
- など

- ▼将来への不安や絶望
- ▼失業や不安定雇用
- ▼過重労働
- ▼借金や貧困
- ▼家族や周囲からの虐待、いじめ
- ▼病気や介護疲れ
- ▼社会や地域に対する不信感
- ▼孤独
- など

顕在化していない“家庭の問題”

経済、企業経営は顕在化している既知の問題であり、対策は国が処するところである。

しかし、潜在的に増加傾向の問題がある。それは家庭における子どもの“居場所がない”問題。



チャット
上位チャット 39

- 21:48 ha ru 明日学校で落ち込んでたけど元気でした
- 21:48 ゆい ゆい なんか、ひさびさに笑った！
- 21:48 及川優太 腹よじれそう
- 21:48 まな まな 自然と笑顔になれる
- 21:48 晴菜 面白い(*▽*)))))))))
- 21:48 斎藤雪羽 笑すぎて頭痛い
- 21:48 sor a 明日学校ですっごい落ち込んでたけど明日頑張れそうです!!
- 21:49 及川優太 ゆかりんハーフ感強し(笑)
- 21:49 ha ru こんな笑ったの久しぶりです
- 21:49 斎藤雪羽 スクショ撮ったw

今日

コロナの影響でお母さんが
おかしくなり、
お父さんが毎日暴言を吐いてます。
お母さんに。

妹は、私を蹴ったり、叩いたり。

お父さんは
私の上ののってきます。
重い。

妹とお風呂に入ろうとしたら、
しつこく、
お父さんも一緒に入ろっかなあって
ニヤニヤしながら言ってきました。
嫌です。

何がストレスなのか分からないけど、
私は今メニエールと聴覚過敏です。
めまいがつらい。

なんでか分からないけど、
疲れました。

自分を消したいです。

昨年5月SNS相談件数

3051人
23000通

チャット (手動応答)

チャット (手動応答)

2020/05/03 - 2020/06/01

アクティブルーム 3,051
(+25%)

受信メッセージ 23,366
(+34%)

送信メッセージ

受信メッセージ

今年の数字

集計完了日	過去7日間	過去30日間
1,129 (+38%)	7,708 (+10%)	35,589 (-6%)

**可哀想な子では、
決して無いということ**



**同情よりも、必要なのは寄り添って
理解するということ**

コロナ禍で居場所を作るために

TEENAGERS' MENTAL SUPPORT ASSOCIATION NPO 法人若者メンタルサポート協会

クラウドファンディング達成ありがとう!!
全国繋がりネットワーク
クラウドファンディングにご協力ください

虐待・子育て放棄・いじめ・大人による性的搾取などによる10代の子どもの、若者たちの自殺。信頼できる大人も友達もいない、「孤独」という辛さ。私たちの団体だけで1ヶ月で20,000の相談が、孤独な子どもたちから寄せられます。こういった問題を解決したい。そのために「相談員の常駐するオンライン居場所」を作るために、このプロジェクトを起らせていただきました。

ありがとうございます！
達成しました！

**みんなの家オンラインの継続費用
ママさん相談室の開設費用**

**「全国繋がりネットワーク」
作りの資金**

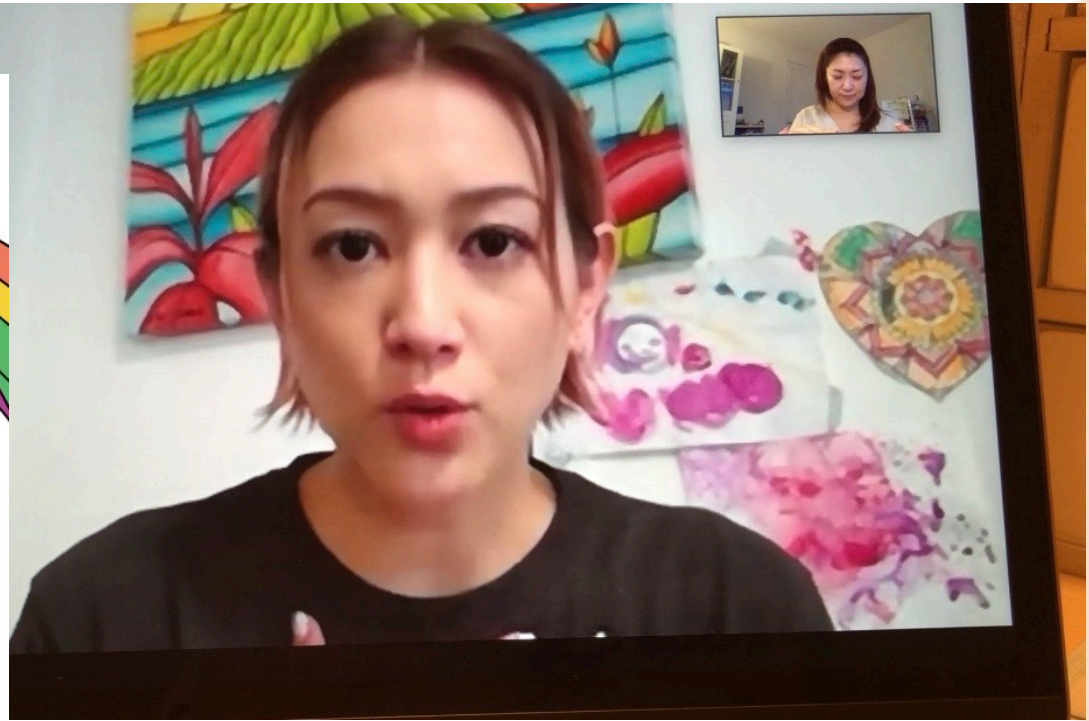
居場所がない子どもたちにとって、オンラインで寄り添い支えつづけていくことの支えとなることを、この活動を通じ体感していますが、実際に食事を与えてもらっていない子、必要な文具を買えない子など、温かな食事や新しい文具を提供するのは、近くにいる金銭的余裕がないと難しいのもまた現状です。親が子どもたちを管理し監視されている家庭では、その子に必要な物資の支度をすることが困難です（自由に送ることで親に相談していることがバレて虐待が強化したり、スマホを取り上げられてしまったりします）。そのためにも全国に同じ思いで活動していると、私たちが繋がり支えの拠点をすることで、そうした子たちに食事や必要なものを届けることができます。

ご協力をお願いします！

SHELLYちゃんも応援メンバー！
YOUTUBE にて公開中

クラウドファンディングサイト「READYFOR」にて支援者を募集しています

2020 6/20 ~ 8/9
<https://readyfor.jp/projects/kodomo-ibasyo>



LINE@ 10代専用
LINE相談

家にも学校にも居場所や相談相手を見つけれないまま悩
み苦しんでいる若者に対し、代表の周田を中心に、ボランティ
アメンバーでLINE(SNS)を使い、24時間の無料相談活動
を行なっています。

若者メンタルサポート協会の詳細はこちらから

<http://wakamono-support.jp/>





様々な家庭環境によって
親からの愛が不足する若者に
家族を感じられる時間を提供し
家族のように寄り添いながら
その子の可能性を認め伸ばし
自ら自立して
社会へ飛び立てるよう
サポートをしています

ご提案内容

自社で契約・設置している自販機で子供達を救って頂けませんか?? 「子供達へ手を差し伸べるCSR活動」



飲料1本の売上から●円を寄付



若者の居場所『みんなの家』



実際に会っての心のケアや食事提供の支援



自販機の収益の中からNPO法人の活動費を協賛頂き、若者達救済の資金とさせていただきます。

10代専用 LINE相談



当協会では、小中高生の10代の無料LINE相談を団体のメイン活動として行なっております。

虐待やネグレクトなどの家庭環境の苦しみをはじめいじめ・不登校・進路の悩みなど相談は多岐に渡りますが多感な10代にとって居場所のない孤独感はとて深刻です。家庭と学校が毎日の居場所である子どもたちにとってその場所が苦しみを生む場所となってしまうと生きる意味も生きる気力も見出せないほど大きな苦しみを毎日背負わないといけません。

ひとりで苦しみを抱え、家にも学校にも居場所がなく相談できる人も見つけれないまま悩み苦しんでいる若者に対し当協会では、約30名のボランティア相談員が、24時間受付でLINE（SNS）での無料相談に対応しております。

*24時間受付しておりますが、24時間対応ではありません。
また相談が激増する時期は、お待たせしてしまう場合がございます。

LINE@



LINE相談はこちらから

相談についてはもちろん匿名でお受けいたします。
相談者の個人情報について外に漏れることはありません。
また、子ども本人が望まない通報も当協会はしておりません。

自動販売機の売上の一部が子供達を救う活動の資金となります。

また、自動販売機にこちらの広告を掲載することで、より多くの子供達の目に留まり、気軽に相談できる環境を作ることが出来ます。

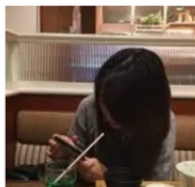
※DVをしている大人達への抑止効果も見込めます。

LINE相談では解決できない、また対面相談を希望している場合の電話での相談、実際に会っての面談も行います。
また、食事を与えてもらえない子や孤食の子に、一緒に食卓を囲んでの食事提供や、協会メンバーとトランプやゲームを楽しむなどのレクリエーション活動なども行います。
都内や近県を中心に対応していますが、緊急を要する際は遠方でも出張して対応します。

理念

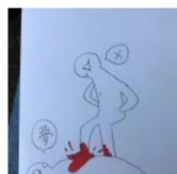


様々な家庭環境によって
親からの愛情が不足している子ども若者たちに
家族を感じられる時間と場所を提供し
家族のように寄り添いながら
その子の可能性を認め伸ばし
自ら自立して社会へ飛び立てるよう
サポートしています。
また、未来ある子ども達が
家庭や社会が安心できる居場所となるよう
虐待などを生み出さない世の中を作ること。
そのための大人のサポートもしていくことで
自己重要感の持てる幸せな大人と子どもたちに
溢れた社会を作ります。



面会、相談

必要に応じて、若者と直接会いの相談や支援を行います



高校生から届き託される、心の叫び

時には相談者の高校生からイラストで心の叫びが届きます。



パトロール

ハロウィンの六本木での若者サポートパトロール活動



イベント

相談者の子供達と定期的にコミュニケーションを図るイベントを行っています。



レクリエーション

相談者の子供達の思い出作りのために、バーベキューやバス旅行などのレクリエーションを企画しています。

子供達は子供達なりに多くの深い悩みを抱えています。
その原因の大半が大人達、つまり我々の可能性があるんです。

そういった子供達に手を差し伸べ、寄り添い救う活動にご協力ください！

SDGsの取り組み

「SDGs（エスディー・ジーズ）」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、**国際社会共通の目標**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



目標1. あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

1 貧困をなくそう



1-2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。

1-3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度および対策を実施し、2030年までに貧困層および脆弱層に対し十分な保護を達成する。

目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

3 すべての人に健康と福祉を



3-5 麻薬乱用やアルコールの有害な摂取を含む、薬物乱用の防止・治療を強化する。

3-7 2030年までに、家族計画、情報・教育、およびリプロダクティブ・ヘルスの国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関するヘルスクエアをすべての人々が利用できるようにする。

目標4. すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

4 質の高い教育をみんなに



4-2 2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い早期幼児の開発、ケア、および就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

4-3 2030年までに、すべての人々が男女の区別なく、安価で質の高い技術教育、職業教育、および大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。

4-4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、ディーセント・ワーク及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

目標5. ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

5 ジェンダー平等を実現しよう



5-1 あらゆる場所におけるすべての女性および女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。

5-2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性および女子に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。

国内および国家間の不平等を是正する

10 人や国の不平等をなくそう



10-2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワーメント、および社会的、経済的、および政治的な包含を促進する。

1, 貧困をなくそう
3, すべての人に健康と福祉を
4, 質の高い教育をみんなに
5, ジェンダー平等を実現しよう
10, 人や国の不平等をなくそう
16, 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

16 平和と公正をすべての人に



16-1 あらゆる場所において、すべての形態の暴力および暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。

16-2 子どもに対する虐待、搾取、人身売買およびあらゆる形態の暴力および拷問を撲滅する。

協力団体

協会概要

一般社団法人防災・防犯自販機協会は、全国の地域優良オペレーター（自販機管理業者）が共同出資して清涼飲料自販機業界の未来を創造するために設立された株式会社ホーキング（代表取締役 宮岡 皓 兼任）が母体となり、より地域社会に貢献する清涼飲料自販機業界のあり方を具現化するために設立した団体です。株式会社ホーキング(設立2002年12月12日 資本金9950万円 代表取締役 宮岡 皓)では17年間、一貫して清涼飲料自販機を活用してロケーションオーナー様（設置場所の地権者）に、ただ清涼飲料自販機を提供するに留まらない付加価値サービスを提供してまいりました。公衆無線LAN、EX充電器、デジタルサイネージなど様々な付加価値を提供する中で、近年、特に自治体を中心とした地域の要望として防犯カメラの設置を依頼されることが多くなりました。その要望に答えるため、特に防犯と防災に寄与する自販機サービスを提供する取り組みを、本協会は担っています。

■協会名 一般社団法人防災・防犯自販機協会

■設立 2014年1月24日

■代表理事 五味 隆介

■事務局 〒143-0015
東京都大田区大森西7-5-13 三常ビル2階

[URL:http://www.jaoc.jp](http://www.jaoc.jp)

■事業内容

- ・防災・防犯自販機プロジェクトの企画・運営
- ・ベンダープロデュース・統一管理業務代行・営業
- ・飲料自動販売機を活用したその他ベンダーソリューションの企画・開発・販売

■提携企業（順不同）

大手飲料メーカー各社、総合警備保障株式会社、株式会社ホーキング及び全国ホーキング参加オペレーター各社他

導入実績

- 埼玉県ふじみ野市
市内複数箇所の行政施設に防災防犯自販機及び防犯カメラを設置し、街の安心安全に寄与
- 石川県白山市
市内複数箇所の行政施設に防災防犯自販機及び防犯カメラを設置し、街の安心安全に寄与
- 和歌山県日高川町
町内数カ所に自販機を設置、公民館の外に防犯カメラを設置し、青少年のいたずら、非行を抑止
- 京都府
京都市内中心街のコインパーキング約20箇所に自販機を設置し、市内通学路など12箇所に防犯カメラを設置し、登下校の安心安全に寄与
- 埼玉県新座市
市内複数箇所の行政施設に防災防犯自販機及び防犯カメラを設置し、街の安心安全に寄与
- 東京都府中市
市内複数箇所の行政施設に防災防犯自販機及び防犯カメラを設置し、街の安心安全に寄与
- 川崎市北部市場
公設市場内に7台の自販機を設置し、防犯カメラを市場内の2箇所に設置し、発泡スチロールなどの不法投棄を抑止
- 船橋市船橋アリーナ
施設内に自販機10数台を設置し、大型電光掲示板を設置し、防災活動啓蒙及び地震速報を通知
他多数
- 茨城県守谷市
- 福岡県大川市
- 埼玉県本庄市
- 和歌山県海南市
- 岩手県一関市

子供救済自販機プロジェクトについて

自販機を活用した若者達に手を差し伸べるプロジェクト

このプロジェクトは、自治体や地域・企業が主体となり、自販機の全国ネットワークを持つ自販機オペレーター事業者組合（JAOC）と、若者達救済の活動をしているNPO法人（若者メンタルサポート協会）とリスク対策支援をおこなう協会（リスク対策支援協会）にて、多くの人の目に触れる自販機からの収益と飲料メーカー協賛を財源に、子供達に手を差し伸べる持続可能な共助型社会サービスです。

利用することで地域
の安心安全に貢献

利用者



飲料購入

費用をかけずに・・・

- ・子供達に手を差し伸べられる体制づくり
- ・虐待を減らす体制づくり
- ・子供達に寄り添える街

(活用例)

- ・子供達への認知活動
- ・大人達（親）へのDV抑止
- ・自殺者対策 など

自治体
企業



場所提供

子供達の相談窓口認知・DV被害の抑止に
役立つ自販機を設置して自殺抑止の推進



一般社団法人

JAOC 防災・防犯自販機協会

必要な経費を全額協賛
災害時飲料無償提供
自販機に防犯啓蒙広告
自販機の設置・運用・管理



防災・防犯支援システム
設置運営



一般社団法人リスク対策支援協会
Risk Management Support Association



NPO法人
若者メンタルサポート協会

LINE相談
面談対応
イベント開催
リスク対策

【本サービスの特徴】

1. 自販機は自販機オペレーションのプロJAOCが安心安全な設置・管理・運用を行います
2. 自販機は災害対応機種/キャッシュレス対応機種を導入致します
※機種や立地によってはキャッシュレス対応が難しい場合があります
3. 自販機でNPO法人の案内を掲載し啓蒙活動を呼びかけます
4. 自販機にDVに関連する内容を掲載することで、大人達に対する認識を促し、地域全体のDV抑止に繋がります（ラッピングや窓枠広告）
5. ご協力頂いた企業様の社名を掲載しますのでCSR活動の一環としてブランディングが可能です
6. 毎月の電気代や自販機の設置費用は当方で負担しますのでコストがかかりません
7. 災害時に飲料を無償提供いたします

- 現在設置されている自販機をそのまま使用するパターン（前面の広告部分にCSR活動を掲載）
- 現在設置されている自販機を新しい機械に入れ替えるパターン（ラッピングと広告部分によるCSR活動を掲載）
- 新たに設置するパターン（ラッピングと広告部分によるCSR活動を掲載）

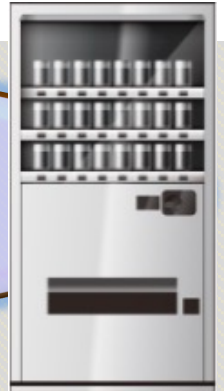
上記いずれのパターンにせよ、一般社団法人防災防犯自販機協会及び関連企業の連携により、自販機及び自販機巡回体制を活用し、**負担金ゼロ**で整備支援します。

導入費用ゼロ+運用費用ゼロです！

体制図について

企業・自治体など

自販機設置場所の選定
子供達支援自販機設置



子供達支援協定締結



子供達支援自販機サービス

企画・防災防犯自販機管理取纏め



一般社団法人

防災・防犯自販機協会

自販機運用・設備軽保守

大手飲料メーカー

大手オペレーター

子供達対応担当



NPO法人
若者メンタルサポート協会



一般社団法人リスク対策支援協会
Risk Management Support Association

全体取纏窓口

防犯・防災設備機器の
無償提供

大規模災害時清涼飲料の
無償提供

設備機器の軽保守・
メンテナンス

LINE窓口
対面对応
イベント開催

実施に向けた具体的なアクションと流れ

ご用意いただきたいのは以下2つのリスト。あとはJAOCが現地調査して提案を纏めます

1. 現在メーカー等と契約している契約書の写し
2. 直近12ヶ月分の明細書

自販機を設置したい場所のリストアップ
(所定のシートに自販機に関するご希望内容などを記入いただきます)

防災防犯自販機協会
(jAOC)

- ・ 現地調査及び撮影
- ・ 場所ごとにメーカー・機器選定
- ・ 提案書の作成
- ・ 全体予算収支見積

最短でリスト提示、意思決定後1ヶ月半。平均的にリスト提示後2-3ヶ月の期間をいただきます。

より安全で健全な社会に
起きてからではなく
起きる前に防ぐ力を

Improve Risk Management for Smarter and Safer Society

子供達の未来を守るために
地域の認知・啓もう活動に寄与できることを願っています。



一般社団法人リスク対策支援協会
Risk Management Support Association